

第1章 選手の皆さんへ

この大会は、全選手の皆さんの自主的な協力で成り立っています。

各トーナメントやリーグにはコート責任者がいますが、その生徒さんと協力して安全に、迅速に試合を進めて下さい。

●日程

4 / 28 (土)

・ A 級出場者

9:30 より風越公園テニスコートで選手ミーティング。

・ B 級出場者

自分の試合会場、コートへ 10:00 に集合。
ただし、「コート責任者」(対戦表上で網掛けの選手)は風越公園テニスコートへ集合。9:30 より選手ミーティング。

試合は、「コート責任者」が到着、全員で選手確認、打ち合わせでき次第開始。

・ 講習会参加者

10:00 に講習会会場へ集合、選手ミーティング。

4 / 29 (日)

・ A 級出場者

8:30 より風越公園テニスコート前で選手ミーティング。

・ B 級出場者

自分の試合会場、コートへ 9:00 に集合。
ただし、「コート責任者」(ドロ表上で網掛けの選手)は風越公園テニスコートへ集合。8:30 より選手ミーティングに参加。
試合開始は、「コート責任者」が到着、全員で打ち合わせでき次第。

・ 講習会参加者

9:00 に講習会会場へ集合、選手ミーティング。

2. 注意点

- ・ ケガの発生や熱中症になった場合(やそれが疑われる場合)は、付近に先生方がいる場合にはその先生を呼び、いない場合は、本部や顧問の先生に連絡して下さい。急を要する場合は自分たちで救急車を呼んで下さい。
- ・ 軽井沢は私有地への立ち入りについて特に厳しく、トラブルになりやすく単に注意されるだけでない事態が生じることがあります。一見空き地に見えるような場所でのボールを使った練習はもちろん、立ち入りも避けて下さい。
- ・ 自分の属するトーナメントやリーグの番号、試合会場を掌握して下さい(テニスコートについている番号は地図の番号とは異なります)。
- ・ 対戦表の中で網掛けで着色されている生徒が「コート責任者」です。その生徒は、そのトーナメントなりリーグに属する全選手の協力の下、運営を主導する責任者です。
「コート責任者」は、選手ミーティング後、
 - ① 結果報告する用紙(対戦表)、
 - ② 記入用のペン、
 - ③ ボール、の3点セットを会場へ持参し、そのトーナメントやリーグを運営します。
その日の試合終了後、優勝者へ①～③の3点セットを本部へ返却するよう伝えて下さい。
- ・ 優勝者は、その日のうちに、結果報告と共に、3点セットを本部へ届けて下さい。優勝者には賞品を出します。
- ・ 保護者が会場まで送迎してくれる場合は、保護者の方に「第3章に保護者の方向けの注意点があるので読むように」伝えて下さい。

3. ルール

- ・ 1セットマッチのセルフジャッジとします。周囲にゲームカウント、ジャッジが聞こえないと、待っている選手がトイレ等に行けないので、ルール通り、明確に発声して下さい。
- ・ 進行が遅くなった場合は、多くの対戦を行いたいのので、ノーアド、ショートゲームに切り替え下さい。
- ・ 前の対戦が終わったら、ただちに試合に入って下さい。サービス4本のみ可能です。5分たっても選手が現れない場合は、現れない選手をノーショウ、敗者と見なして下さい。本来は、その選手はその日に行われる、それ以降のすべての試合に出場することができませんが、この大会では次の敗者戦には出場することができるものとします。
- ・ リーグ戦において、勝敗数が同じ場合、2者の勝敗が同じ場合は、直接対戦の結果、3者の勝敗が同じ場合は、取得ゲーム率が高い方が上位（取得したゲームの合計数÷全試合のゲームの合計数）となります。
- ・ その他、ルール上でわからない点がありましたら、同じトーナメントやリーグに属する他の選手に聞いてみましょう。

4. その他（トイレ、お弁当、全般）

- ・ 道に迷う場合があります。同じ方向に歩いている生徒さんに「〇〇方面に行きますか？」等、コミュニケーションをとり、一緒に行動した方が無難です。
- ・ トイレが近くにない会場があります。その場合は、選手が宿泊している宿舎にことわって、借りて下さい。
- ・ 会場によっては、自動販売機やコンビニが近くにならない場合があります。あらかじめ準備しておくことをおすすめします。
- ・ 宿泊している学校は、2日目のお弁当が顧問の先生等から届きます。その空き箱等は宿舎に持ち帰るか、学校ごとまとめて本部へ届けて下さい。
- ・ 進行上困るのは、コートを離れて選手が現れず、試合進行が止まってしまうことです。トイレに行く場合は、試合順や試合進行を確認して下さい。

- ・ 具合が悪くなって試合を継続、参加することが難しくなった場合は、コート責任者、顧問の先生の2者には必ず伝えて下さい。
- ・ すべての選手は、コート責任者に負担がかからないように、協力して進行して下さい。同じテニスをする選手、これを機会につながることでできる知り合いが増えると理想的です。